
	<p>中村哲著述アーカイブ コンテンツの説明  PMS 支援室への聞き取りをもとに九州大学附属図書館が作成 (2022.10)  <a href="http://hdl.handle.net/2324/4842512">http://hdl.handle.net/2324/4842512</a></p>
<b>タイトル</b>	[A-G]用水路概略図_縦断・平面図
<b>作成者</b>	中村, 哲
<b>作成時期</b>	2003年12月
<b>キーワード</b>	マルワリード用水路 A1-G3 第 期工事 : 2003年3月19日~2007年4月30日 (注1)
<b>図の説明</b>	<p>用水路のルートを決めし測量をした後、エンジニアと工事の計画を共有して工事に臨むために作成され、使われた用水路の平面図および勾配を示す縦断図。</p> <p>2003年3月から始まった用水路計画だが、測量やどこに用水路を通すかの検討に長く時間がかかり、実際の建設が本格的に始まったのは2003年末(12月頃)。当時は用水路の現場責任者はアフガン人で、アフガニスタン人エンジニアも7~8人ほどいたので、彼らに説明するために作成した図(文字表記は英語)。赤字、青字とも中村哲医師の筆跡。鉛筆書きも書き加えながら説明をしている。</p> <p>工事計画を共有した相手は、アフガン人エンジニア達だが、彼らは翌年にはほぼ辞めている。エンジニアのディダール氏は、用水路建設計画の初期から関わっており、当時辞めたエンジニアの中の一人だが、その後 PMS に戻り、現在も職員として事業に関わる。</p> <p><b>【縦断図：上】</b>取水口から各地点へ向かっての傾斜を表す。  だんだん傾斜をつけ、D池(D地点の沈砂池)にも送水門を置き、砂の含有が少なくなった上水(うわみず)を下流へ送水する、などの説明をしている。</p> <p><b>【平面図：下】</b>取水口からG地点までを上から見る図。  D池を胃袋に見立てて、まるで人間の身体のようにも見える。  用水路に交差する点線部分は谷(涸れ川)で、時々降雨があり、大きな谷からの洪水(鉄砲水)が用水路の上を流れる。A地点は「洪水通過橋(こうずいつうかばし)」とよばれる鉄筋コンクリート構造物(橋)が、洪水に耐えうるように作られた。この橋の設計以後は、(エンジニアに設計を任せて失敗した経験から)中村医師が全面的に設計をするようになる。</p> <p>C地点では国道の下を暗渠(注2)で通し、用水路はD池(沈砂池)に接続される。D池の下流側に三連の送水門と排水門一つを作り、堆積した砂や余水は排水門から、国道の下の排砂路を通過してクナル川に流している。</p> <p>E地点でも洪水通過橋をかけ、用水路は国道を交差しF-G地点へ。初期(2003年頃)</p>

	<p>は F-G 地点の岩盤回りがゆるやかなカーブで表現されているが、この部分は後にはもっと回り込んで描かれることになる。G 地点の末尾は道路をサイフォンでくぐる構造。のちに中村医師は「建設初期で良くわからず、おおげさにサイフォンを作ったけれど、ただのトンネルでよかったんやなかるうか」とも語っていたそうです。</p> <p>この用水路概略図は、2003 年 12 月（D 沈砂池への変更決定後）の作図と思われる。それ以前（11 月の段階）の図では、D 地点は池ではなく用水路の形態で描かれている。現地ジャララバードで中村医師も居住していた宿舎（スタッフハウス＝日本人宿舎）には別図があり、ボードに貼られていた（2003 年 12 月 17 日撮影の写真あり）。D 池は当初は岩山に沿った用水路として設計され、2003 年 11 月までは用水路としての掘削作業を行っていた。途中で沈砂池に変更され、2003 年 12 月 14 日からは国道の淵に盛土の作業が始まったので、その間に中村医師の中で池に変更することが決定されたようだ。</p>
注	<p>注1 『アフガン・緑の大地計画 伝統に学ぶ灌漑工法と甦る農業』改訂版 中村哲著（Peace (Japan) Medical Services &amp; ペシャワール会、2018 年）による</p> <p>注2 暗渠（あんきょ）：中村医師の著書での表現にならい、道の下などを通過する水路全般を広く指して「暗渠」と表現した。2022 年現在現地活動をサポートしている技術チームによると、この地点で国道下を通した水路は、水路に自由空間のある函渠（ボックスカルバート）とのこと。</p>
類似する図	<p>主幹水路縦断図（『アフガン・緑の大地計画』改訂版 p.220）      現地ジャララバードスタッフハウスの別図（2003 年 12 月 17 日撮影）</p>  <p>写真提供：PMS/ペシャワール会</p>